

わたしたちの声を聞いてください!

「麗水で感じるもうひとつの韓国」

林 泰男

韓流ドラマの流行などによって、韓国は以前より一層親しみのある隣国になっています。大分県からも大分空港からソウル便が運航しているなど、思ったより近く感じられる韓国ですが、今回はよく知られているソウルではない地域のことを紹介したいと思います。

韓国の西南部に位置する全羅南道（チョルラナムド）の南部海岸に、麗水（ヨス）という所があります。ここ一帯の海岸は非常に入り組んでいて景色が美しいため、海上国立公園にも指定されています。この麗水で、5月12日から「世界博覧会」が3ヶ月間開催されます。美しい海との関係を重視し、「生きている海、息づく沿岸」というテーマで様々な展示やイベントが行われます。地球温暖化などで環境危機が危ぶまれる中、海と人類の共存を模索するための博覧会を目指しています。そして、海の上に立てられた巨大な円形構造物「The BIG-O」が印象的な大型舞台では、噴水やレーザーショーをはじめとする色々な公演が行われるほか、世界約100ヶ国が参加する国際館では、世界各国の独特な展示を楽しむことができます。

また、麗水のある全羅南道は豊かな自然環境に恵まれた地域で、麗水周辺の美しい海をはじめ韓国の霊山として有名な智異山（チリサン）、ドラマのロケ地としても知られている潭陽（タミャン）の竹林など様々な自然を満喫することができ、そこから生まれる海と山の幸は「南道（ナムド）料理」として有名です。

博覧会の期間中は、博多から高速船「ビートル」が麗水まで運航されることになり、交通も便利になります。麗水博覧会をきっかけに、ひと味違う韓国を感じてみるのはいかがでしょうか？



INFORMATION

多言語図書コーナー Multilingual Library

皆さん、国際交流プラザに多言語図書コーナーがあるのをご存じですか？

英語をはじめ、中国語、韓国語、ドイツ語、イタリア語、フランス語などの本を配架しています。小説や旅行ガイドブック、辞典、子供の本など様々なジャンルをご用意しております。興味がある方はぜひ国際交流プラザにお立ち寄りください。

- 利用登録：無料
- 貸出期間：2週間
- 1回につき10冊まで

また当プラザでは、皆さまからの外国語図書の寄贈を随時受け付けております。本を寄贈していただける場合は、国際交流プラザまでお持ちください。皆さまからの寄贈をお待ちしております。



イベントの報告 『外国語図書無料配布』

3月5日から3月10日まで『外国語図書無料配布』を開催いたしました。これは、本のリサイクルとプラザのPRを目的に毎年3月に実施しているイベントです。新聞やラジオ、そしてニュースなどでこのイベントを取り上げていただいたおかげで、毎日たくさんの方々にお越しいただき、約400冊の本、DVD、ビデオ、CDを配布することができました。国際交流プラザでは随時外国語の本、DVD、ビデオ、CD等の寄付を受け付けております。イベント後も、そくぞくと寄付をいただいておりますので、来年3月の『外国語図書無料配布』でも、たくさんのお本をご提供できると思います。来年行きたいなあという方

は、良い本からどんどん無くなりますので、イベント開催日をお見逃しなく！また、国際交流プラザには多言語図書コーナーがあり、本の無料貸し出しをしているのをご存知ですか？ぜひこちらもご利用くださいね！



おおいた国際交流プラザ

La Estación 2012 Vol. 37

発行日 平成24年5月28日(奇数月末発行予定)
編集・発行 (財)大分県文化スポーツ振興財団
国際交流課
〒870-0029 大分市高砂町2番33号
iichiko総合文化センター地下1階 iichiko Space Be内
開館時間：9：30～19：00
閉館日：日曜日・祝日及び第2・4月曜日とその週の土曜日※ただし閉館日が祝祭日の場合はその翌日
TEL：097-533-4021 FAX：097-533-4052
E-mail：in@emo.or.jp Twitter：@oitaplaza
URL：http://www.oitaplaza.jp/

おおいた国際交流プラザ OITA INTERNATIONAL PLAZA

La Estación

ラ・エスタシオン

スペイン語で、局や駅の意。当誌が県内の国際交流・協力情報の発信地として、広く親しんでいただけるようお願いを込めてつけました。

你好♪

Hello♪

Bon jour♪

Guten tag♪

こんにちは♪

안녕하세요♪

Ciao♪

Сайн байна уу♪

寄稿 国際交流協会の役割

第1回「多文化共生は地域づくり ～愛知県国際交流協会の 取り組みから～」1-2

- 団体の紹介 ●地球人倶楽部……3
●大分県インドネシア友好協会……3

国際的に活躍している人々の紹介……4

程 程氏

JICAデスク大分からのお知らせ「ラオス奮闘記」……4

Event Calendar……5-6

私たちの声を聞いてください!……7

林 泰男氏

Information……7

イベントの報告……7

(財)大分県文化スポーツ振興財団

『ウエストワックの教会』(ナミビア)
写真:瀧口智恵

第1回

「多文化共生は地域づくり ～愛知県国際交流協会の取り組みから～」

今年度は「国際交流協会の役割」と題して、先進的な取り組みを行っている国際交流協会等に、県内国際交流団体や在住外国人に対する支援策等について解説していただきます。
第1回目は、愛知県国際交流協会の栗木梨衣さんの寄稿です。

▶ 「外国籍住民」とひとくくりにはできない

外国人登録者数は201,268人で人口に占める割合は2.71%。国籍（出身地）の数は161カ国。ブラジルが55,310人で全体の27.5%を占め、続いて中国47,784人(23.7%)、韓国・朝鮮37,612人(18.7%)、フィリピン26,436人(13.1%)、ペルー 7,530人(3.7%)。

これが、愛知県の外国籍住民の2011年末現在の状況です。1990年の入管法改正以来、愛知県に住む外国籍住民の数は増え続け、2008年のピーク時には全国でも東京に次いで2番目に多い県になりました。現在は若干減少しましたが、それでもまだまだ外国籍住民が多い地域といえるでしょう。しかし、もう少し詳しく見てみると、例えば豊田市では、外国籍住民の50%以上が日本生まれです。外国籍と言っても、生まれたときから日本に住み、日本の教育を受け、おそらくはこの先も日本に住み続けられる住民が半分以上もいるのです。また、愛知県全体ではブラジル国籍の方が多いのですが、例えば名古屋市の場合は、中国、韓国・朝鮮、フィリピン国籍の方が多くなっています。あるいは、集住地区と散在地区でも状況が異なります。つまり、「外国籍住民」と一言でいってもその背景や抱えている課題は多様で、地域によっても異なるのです。

愛知県では多文化共生を「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義しています。日本人と外国人がともに学び、ともに働き、ともに安心して暮らせる社会づくりをめざして、愛知県国際交流協会でも様々な取り組みを行っていますが、そうした活動を進めていく中で、外国籍住民一人ひとりのニーズに配慮するきめ細かさを心がけ、特に重点的に取り組んでいるのが「日本語学習支援基金」と「多文化共生ソーシャルワーカー」の事業です。

▶ 日本語学習支援基金

外国籍住民が抱える大きな問題の1つが子どもの教育です。特に、日本語指導が必要な児童生徒の数は年々増加しており、2008年の文部科学省の調査によると、愛知県は日本語指導が必要な外国人児童生徒が全国で最も多いという結果がでました。そうした状況を踏まえ、愛知県では、県内企業等から寄付金を募って基金を立ち上げ、日本語教室や外国人学校への支援、ボランティアの育成など、外国籍児童生徒の日本語教育支援に取り組んできました。

この事業を進めることで、地域のボランティアによる日本語教室が4年間で約3倍に増えまし、企業の方たちにも外国籍の子どもたちの教育問題について知っていただくことができました。「日本語がわからない」だけで、将来の夢も希望もなくしている子どもたちに、日本語を学ぶ場と機会を提供し、モチベーションを高めることができれば、子どもたちにとってだけでなく、地域にとっても大きな財産になります。

とはいえ、基金がいつまでも続くわけではないので、今後は、保護者や学校、ボランティアと連携をとり、地域ぐるみで子どもたちの教育を支援できるような基盤づくりを目指していきたいと考えています。



ボランティアによる日本語教室

▶ 多文化共生ソーシャルワーカー

1990年以降、当協会でも外国籍住民への相談・情報提供事業を行ってきましたが、さらに2008年には協会内に『多文化共生センター』を開設し、愛知県と協働で多文化ソーシャルワーカー事業に取り組んできました。2012年度からは事業を全面的に当協会に移管し、相談・情報提供と一体化したソーシャルワーカー事業を展開していきます。

滞在の長期化・定住化に伴って、外国籍住民の抱える問題は労働、教育、医療等と多岐にわたり、その内容も複雑になっているため、単なる情報提供だけでは解決できない場合が増えています。外国籍住民が持つ社会的・文化的背景を理解し、相談者の心だけでなく、置かれた環境に対しても働きかけることのできる「多文化ソーシャルワーカー」が外国籍住民と一緒に問題に向き合い、専門家と緊密に連携していくことにより、問題解決に努力していくとともに、そのプロセスを通して、より自立した外国籍住民を増やしていきたいと考えています。



多文化共生センター

▶ 国際交流・多文化共生がめざすこと

1980年代全国各地に国際交流協会がどんどん設立されたころ、盛んに言われたことがありました。「『国際交流』が日常的に自然に行われる地域をめざすべき。『国際交流協会』は必要ないと言われるようにならなければいけない。」また当時は、「国際交流＝外国人と仲良くすること」ととらえられることも多く、「身近じゃない」「国内にもっと大切な活動がある」「外国語ができなければ関われない」などの理由から優先順位が低くなったり、逆に敷居が高くなったりしてきました。

そんな状況がある意味大きく変えたのが、「多文化共生」でした。「ニューカマー」と呼ばれる外国籍住民が急増し、「お隣が外国人」「クラスに外国籍の同級生がいる」「職場に外国籍の同僚がいる」ということが珍しくなくなり、好むと好まないにかかわらず、30年前に言われた「日常的に国際交流」という状況になってきたのです。しかし、日常的になったことで、国際交流協会は必要でなくなるどころか、その担うべき役割はむしろ多様で、深く、重要になったような気がします。

そもそも、国際交流協会が目指していることは、国際的な視点に立った地域づくりと地球づくり。「国際交流」も「多文化共生」も世界や地域に主体的に関わることによって「だれかが暮らしやすい社会」を創ることを目指した同じ活動です。そしてそれは、外国籍住民に限ったテーマでもありません。日本人同士が心地よく暮らしていくためにも、お互いの価値観を認め合ったり、理解し合うことが大切です。また、外国籍住民や日本人が一人ひとり違うように、多文化共生も唯一無二の方法があるわけではなく、多様なアプローチの方法があると思います。例えば、孤立感を感じている人は、挨拶をされただけで安心感を感じるかもしれません。大切なのは、国籍に関わらず一人ひとり異なる誰もが暮らしやすいと感じられる社会を創っていくということ。外国籍住民が暮らしやすい社会は、日本人にとってもきっと暮らしやすい社会なのではないでしょうか。

これからもだれかが暮らしやすい地域と地球を創るべく、その時々状況とニーズを見据え、国際交流の拠点としてきめ細かな活動を広げ続けていきたいと考えています。



Profile

栗木 梨衣 (くりき りえ)

民間企業勤務を経て、財団法人愛知県国際交流協会プロパー職員として、国際交流・国際協力事業の企画・実施、外国人相談、ボランティアコーディネート、日本語教育、国際理解教育等に従事。2003～2005年、愛・地球博ボランティアセンターに出向。国際・研修グループマネージャーとして、3万人のボランティアの研修を企画実施するとともに、西ゲートボランティアセンター長としてコーディネートにあたる。2005年11月より財団法人愛知県国際交流協会に復職。現在、公益財団法人愛知県国際交流協会交流共生課長。

大分の国際交流団体の紹介

大分県国際交流団体地球人倶楽部

当倶楽部は、1992年に設立（2006年にNPO法人化）され、これまで20年間にわたり活動が続けている団体です。

大分県も近年、留学生を筆頭に海外との交流が活発になり、私達の周りには、長期滞在者や日本人の配偶者となって定住する外国出身者等が多くなっています。このような状況から、県民の中には国際交流に関心を持ち、自分の出来ることで何らかの貢献をしたいとの思いを持つ方も多くなりました。

そこで私達は、同じ思いを持っている方々に参加していただき、言葉や文化・習慣の違う異国の地で生活している外国出身の方々に支援の手を差し伸べると共に、日常的な触れ合いの中で友好関係を深めつつ、異文化の相互理解に努めています。

具体的な活動は次の通りですので、これなら自分もやってみたいと思われる方は是非ご参加ください。ご連絡をお待ちしています。

1.日本語教室「あいうえお」部会

当倶楽部の中心的活動で、日本語習得支援活動です。

これまで30か国余りから来県した外国人等が学習者として参



加しました。現在も大分教室（2か所）と別府教室で約30人の方々が支援者とマンツーマン方式で勉強しています。

学習内容は日常生活に必要な日本語の習得を基本にしていますが、もっと深く勉強したいと希望する方には日本語検定受験指導もしており、これまで多くの合格者を出しています。

また、学習者の日本語習得結果を楽しく確認する「スピーチ会」や異文化理解のための「座談会」を開催しています。

2.交流部会

外国人やその家族等との友好を深めるため、春は花見、夏はハイク、秋は料理教室、冬はクリスマスパーティー等のイベントを行っています。

3.ボランティア通訳部会

来県、在住外国人等への通訳・案内等を行っています。現在はアルゲリッチ音楽祭、国際車いすマラソン大会等に協力しています。



大分県国際交流団体地球人倶楽部

■〒870-0024 大分市錦町2-6-32
■代表 河野祐治 TEL 097-534-6627
■事務局長 小翠壽三郎 TEL 097-542-1690
■日本語教室担当 宮瀬とも子 TEL 097-541-6841
090-8353-2485

大分県インドネシア友好協会

大分県インドネシア友好協会は、日本とインドネシア両国民相互の理解を深め、更に友好親善を図りつつ、文化・芸術・経済、その他各方面における交流に努める目的を掲げ活動をしています。

インドネシアは赤道直下の大小1万3千余の島々からなり、面積は日本の約5倍、人口約2億4千万人の天然資源が豊富な国です。観光地としては、「地上最後の楽園」とも「神々の島」とも形容されるバリ島をはじめ、8～9世紀に建造され、世界最古で最大と言われる仏教寺院「ポロブドゥール」があります。日本とは貿易・投資・技術協力等の幅広い分野で深い関係を持ち、お互いの文化経済のパートナーとして今後も相互依存関係は深まっていくものと考えられる友好国です。

協会の創立は、昭和45年に「ジャワ会」としてジャワに関係のあった人々が集まり発足したことから始まります。昭和50年6月、大分市で開催された身体障害者スポーツ大会にインドネシア役員選手団が来県され、ジャワ会が歓迎会競技の応援をし、楽しいひとときを過ごして両国の関係を深め、同年8月に会員10名がインドネシアを訪問。この年、2名のインドネシア青年が別府太陽の家で技術研修を行いました。これらの事から両国の親善が深まり、ジャワ会を発展的に解消し、協会組織として多くの人々に参加を呼びかけ、昭和51年



大分県インドネシア友好協会

■事務局長 平山 京子
■〒879-7761 大分市大字中戸次1260-26
■TEL 097-529-8122
■FAX 097-529-6463

3月に正式に発会しました。

主な活動として、留学生・研修生との集い、国際シンポジウムの開催、インドネシア語講習会、日伊両国料理教室、ホームステイや大使・政府要人との懇談会、インドネシア友好親善の旅などを行い、両国の友好を促進しています。また、立命館アジア太平洋大学(APU)開校以来、留学生との交流に力を入れ、両国の文化・芸術・民族音楽などを広く県民に紹介するイベントを開催するほか、毎年7月に開催される「インドネシアウィーク」最終日のグランドパフォーマンスへの協賛もを行っています。これらの活動により、彼らが帰国後も日伊両国の架け橋となり、大分を第2の故郷と思ってもらえるよう、会員と共に友好親善に力を入れて活動しています。

なお、会の交流活動に興味を持たれる方々のご入会、ご連絡をお待ちしています。

人物の紹介 ～国際的に活躍している人々の紹介～

程さんは中国遼寧省瀋陽市に生まれ、高校を卒業後、2000年に友好交流短期留学生として来日、別府溝部学園短期大学で日本語を学びました。その後別府大学に編入、さらに長崎の総合科学大学院を経て、現在の勤務先である別府の竹工芸卸会社に入社、中国工場とのやりとりや発送業務を担当しています。

2年前からは別府羽室台高校、今年の4月からは大分西高校でそれぞれ週2回中国語の講師を務める多忙な日々を送っています。同じく友好交流メンバーとして来日していた旦那様とは大学院時代に結婚、4歳になる娘さんのママでもあります。実際お会いしてみると、とてもパワフルな印象の中に、ママとしての優しさも垣間見える素敵な女性です。

昨年9月に中国人同士夫婦では難しいとされる、念願

の永住者資格を取得。夢のマイホームを持つことができました。

大分県に来て約12年。「全く日本語がわからない2人が、あいうえおから勉強を始めて必死に頑張ってきました。」と程さん。大都会ではないけれど、人が優しくして住みやすい大分が大好きだそうです。

今回は別府の竹工芸卸会社で働きながら、別府羽室台高校と大分西高校で中国語の講師を務める程さん(チャン・チャン)を紹介します。



程さんと娘さん

です。今まで辛かった事や困った出来事を尋ねてみたのですが、「頑張れば何でもできるよ、幸せになれますよ!」ととても前向きなメッセージが返ってきました。

昨年の夏には、教え子の中から中国語能力試験の4級合格者が出たそうです。「中国語の大切さに気付き、勉強してくれたことが嬉しい。」と笑顔を輝かせます。程さんの教え子たちが、大分と中国との国際交流の架け橋になる日が待ち遠しいですね。

JICA デスク大分 からのお知らせ

シニア海外ボランティアで2011年9月からラオスに派遣されている、小澤賢二(おざわけんじ)さん。首都ビエンチャン市で陸上競技の指導に奮闘中!

みなさんはラオスがどこにあるのかご存じでしょうか?おそらくその位置を的確に答えられる人は少ないのではないかと思います。ラオスは東南アジアのインドシナ半島内陸部にあり、周囲をベトナム、カンボジア、タイ、ミャンマー、中国の五ヶ国に囲まれた人口六百万人ほどの国です。私は平成23年9月よりJICAのシニア海外ボランティアとして、その首都ビエンチャン市で陸上競技の指導を行っています。

ラオスには日本の様に四季が無く、乾季と雨季の二つの季節に分かれています。雨季の間は毎日空一面がどんよりとした灰色の雲に覆われ、時折まるでバケツでもひっくり返したようなスコールが降ります。一方乾季になると一か月以上も雨が全く降らないことがあります。そんな極端な気候ですから、陸上競技でも私が指導する長距離選手の数はありません。現在は三名の選手が地元開催となる12月のASEAN学生競技会に向けて日々練習に励んでいます。

ラオスで最も盛んなスポーツは残念ながら陸上競技ではなく、サッカーです。私が普段活動を行っている国立競技場でも毎

日多くの人がサッカーをして楽しんでいます。それで街の運動具店に行くとサッカー用品はスパイクやウエアーなど品揃えが豊富なのですが、陸上競技用となるとその品揃えが少ないのが悩みの種です。また、ラオスでは現在国内でロードレースが一つも開催されておらず、競技場で開催される競技会も年に一度か二度しかなく、練習の成果を計る機会が極端に少ないのが悩みです。やはりレースと言う目標があつて初めて練習にも身が入るものなので、その機会が少ないことは非常に残念でなりません。このように決して恵まれた環境とは言えませんが、それにもめげず選手たちは毎日練習に励んでいます。彼らは走ることが大好きです。いつの日かその成果が花開くよう、彼らを指導して行こうと思っています。



2011年12月に開催されたラオスの国体で入賞した首都チームの選手たち。国体は3年から5年の不定期間隔で開催されます。(向かって左から2番目が小澤さん)



国際協力推進員の渡辺(わたなべ)までいつでもどうぞ

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko 総合文化センター地下1階 国際交流プラザ内
TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052 E-mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp



よりよい明日を 世界の人々と

JUN 6 JUL 7

プラザのカウンセリング・各相談室のご案内

中国語無料相談

毎月第2・第4火曜日と木曜日
時間：火曜日：13：00～16：00
木曜日：10：00～13：00
会場：国際交流プラザ
予約：不要 相談料：無料
相談員：児玉 文玉（こだま うえんゆう）
※県内在住中国語圏の方のための相談室です。

タガログ語無料相談

毎月第1土曜日と第3火曜日
時間：13：00～16：00
会場：国際交流プラザ
予約：不要 相談料：無料
相談員：吉武ロドラ（おおいふじろどら）
※県内在住フィリピン人の方のための相談室です。

在住外国人のための無料相談

毎月第3水曜日
時間：13：00～16：00
会場：国際交流プラザ
予約：不要 相談料：無料
※ただし、日本語・英語以外による相談は、通訳手配のため、2日前までに要予約。
相談員：伊藤精（いとうしやう）
※県内在住外国人のための相談室です。

入国・在留国籍手続無料相談

毎月第1日曜日
主催：ライフサポート大分
時間：13：00～16：00
会場：国際交流プラザ
予約：必要 相談料：無料
対応言語：日本語・英語
※主として法律相談ですが、それ以外の内容でもお困りの場合はご来館ください。また、相談内容が外にもれることはありません。お知り合いの外国籍の方がトラブルや悩みを抱えている場合には、その方にぜひお伝えください。

在住外国人のための無料健康相談

毎月第3水曜日
主催：大分県済生会日田病院
時間：14：30～15：30
会場：国際交流プラザ
予約：不要 相談料：無料
○健康が不安、どこに相談すればいいの？
○体調が悪いけど、医療費の支払いが心配。
県内在住外国人で、低所得（住民税非課税世帯等）の方、失業等による急な所得低下の方、DV被害の方、医療費にお困りで病院を受診できない方、医療や福祉に関する相談など、ぜひご利用ください。
※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。

JUN

2日（土）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

3日（日）入国・在留国籍手続無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ
主催：ライフサポート大分

19日（火）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

20日（水）在住外国人のための無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

20日（水）在住外国人のための無料健康相談

時間：14：30～15：30 会場：国際交流プラザ
※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。
お問合せ：大分県済生会日田病院 TEL：0973-24-1100

23日（土）日本語deトーク

国際交流プラザでは日本人と外国人の相互理解を目的に、毎月土曜日に日本語deトークを開催します。この日本語deトークでは、日本人と外国人が各国の文化の違いなど、毎回異なるテーマに沿って日本語で話し合いをし、気軽に交流をします。日本人、外国人のことを知ってもらいたい方、理解したいという方、もちろん、「何だかおもしろそう!」という好奇心旺盛な方も大歓迎です。興味があるテーマに気軽に参加してみませんか？
テーマ：なし（フリー・トークング）
時間：13：00～14：30
会場：国際交流プラザ
定員：10名（先着順）※要申し込み 参加費：無料
TEL：097-533-4021 E-mail：hiramoto@emo.or.jp

24日（日）国際理解講座（在住外国人対象）
「ママの国ってどんなトコ?～フィリピン編～」

時間：14：30～16：00
会場：iichiko総合文化センター B1F【映像小ホール】
予約：不要 受講料：無料

Check it out!!

JUL

1日（日）入国・在留国籍手続無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ
主催：ライフサポート大分

7日（土）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

17日（火）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

17日（火）2012年 大分日本語サミット

今年は「～平和～絆でつなぐ地球」をテーマに、世界の優秀な日本語学習者12カ国12名がバネリストとして大分に集結いま、世界では何が起こっているの?平和のために、私たちができることは、なんだろう?日本語で、一緒に考えませんか?
時間：14：00～16：45
会場：別府国際コンベンションセンター B-CON PLAZA
※要申し込み、入場無料

18日（水）在住外国人のための無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

18日（水）在住外国人のための無料健康相談

時間：14：30～15：30 会場：国際交流プラザ
※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。
お問合せ：大分県済生会日田病院 TEL：0973-24-1100

18日（水）ボランティア スキルアップ講座

今年度、国際交流プラザでは、ご登録いただいている全12言語の通訳・翻訳ボランティアを対象に、「医療通訳」「学校通訳」「災害通訳」をテーマにしたスキルアップ講座を開催します。7月の講座は、派遣依頼の多い「医療通訳」です。「医療通訳」として求められる心構えや、現在の医療の実態等を学んでいただいた後、実際に医療器具を用いたロールプレイも行っていただく予定です。ご登録者はぜひご参加ください。
時間：18：30～20：00
会場：iichiko総合文化センター（4F）【中会議室1】
対象：国際交流プラザの通訳・翻訳ボランティアにご登録いただいている方
参加費：無料 ※要申し込み（申込締切：7月13日（金）まで）
担当：白川（しらかわ）
TEL：097-533-4021 FAX：097-533-4052 Email：in@emo.or.jp

21日（土）日本語deトーク

テーマ：「夏休み」 時間：13：00～14：30
会場：国際交流プラザ
定員：10名（先着順）※要申し込み 参加費：無料
TEL：097-533-4021
E-mail：hiramoto@emo.or.jp

OITA INTERNATIONAL PLAZA EVENT
おおいた国際交流プラザイベント

ママの国ってどんなトコ?
～フィリピン編～



フィリピンってどんな国?

おおいたけんには、1,200人くらいのフィリピン人が住んでいます。そして、フィリピンにルーツをもつ親子もたくさんいます。そのため、フィリピン人のお母さんたちが、子どもたちのためにフィリピンの文化を紹介するイベントをします!!
フィリピン人じゃなくても参加できます（子どもも参加できます）。親子で世界の文化を学びませんか??

6月24日（日）午後2:30～午後4:00

場所：Space Beの【映像小ホール】（iichiko総合文化センター B1F）
参加費：無料 予約：不要
言語：日本語・English・Tagalog
お問合せ：おおいた国際交流プラザ ☎097-533-4021 Email：in@emo.or.jp

7カ国語で話そう!
ヒッポファミリークラブ

6月2日（土）ピニャータ大会

内容：お祝いの時に欠かせない子供達のお楽しみピニャータを作ります。初めての人も大丈夫！意外と簡単＆アレンジ自由。親子での参加也大歓迎です。
時間：15：00～17：30
場所：コンバルホール 4階405和室
※要申し込み、参加費一家族500円

6月10日（日）7カ国語で話そう講演会

時間：14：00～16：00 場所：穂田公民館
※参加費無料・託児あり
問い合わせ：フリーダイヤル0120-55-7761

6月16日（土）スペイン語スピーチ大会

内容：母語がスペイン語以外で滞経験の無い人によるスピーチを発表。興味のある方はお問い合わせください。
時間：15：00～17：30 場所：コンバルホール
※参加費・聴講費無料

7月7日（土）夏の海外交流準備会

内容：☆星にねがいを…七夕お楽しみ会！この夏に海外に出かける人達は集い情報交換しましょう。
時間：16：00～17：30 場所：コンバルホール
※要申し込み、参加費無料

7月21日（土）マウリシオ&帰国予定留学生お別れ会

内容：メキシコからの留学生マウや仲良くしてくれた各国の留学生達と楽しく過ごしましょう。
時間：15：00～17：30 場所：コンバルホール
※要申し込み、参加費無料

お問合せ：ヒッポファミリークラブ大分 安達里美
☎090－1976－5192

OITA INTERNATIONAL PLAZA EVENT
おおいた国際交流プラザイベント

Do you know about
your mother's country?
～ Philippines ～

What kind of country is The Philippines?

About 1,200 Filipinos live in Oita now.
It is said that there are many mothers and their children who have roots in the Philippines.
This event is an introduction to Filipino culture for Filipino children, by Filipino mothers!!
Even if you are not Filipino, you can attend this event!
Of course, your children can also join in too!

Sunday June 24th 2:30 pm - 4:00 pm

Place：Small Picture Hall in Space Be (iichiko Culture Center B1F)
Fee：Free
*No reservation is required!
Language：English, Tagalog and Japanese
Oita International Plaza ☎097-533-4021 Email：in@emo.or.jp

